東京ヤクルトスワローズ 秋季キャンプ中

東京ヤクルトスワローズが坊っちゃんスタジアムで秋季キャンプを行っています。ぜひ応援にご来場ください。（入場無料）

【期間】11月22日㈫（予定）まで

※期間や練習日程は変更となる場合があります。詳しくはヤクルト球団ホームページhttp://www.yakult-swallows.co.jp/または坊っちゃんスタジアムにご確認ください

【場所】坊っちゃんスタジアム（市坪西町）

昨年の秋季キャンプ

お問い合わせは、坊っちゃんスタジアム☎9653000・FAX9653100、㈶松山観光コンベンション協会（東京ヤクルトスワローズ松山協力会）☎9356711・FAX9210286へ

小学生限定 冬の親子はいく

俳句とまち歩きが楽しめる「松山はいく」特別プラン

冬の季節にも俳句の材料がいっぱいあります。そこで〝ただならぬ!?〟ガイドといつもの遊び場を散策しながら一冬の思い出に俳句を楽しんでみませんか。

【日時】12月4日・18日、平成24年1月22日、2月19日。いずれも日曜日の14時30分～16時30分▼集合・解散＝総合コミュニティセンター（湊町七丁目）※雨天決行

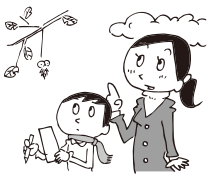
【コース】総合コミュニティセンター敷地内を散策→こども館「コスモシアター」を観賞→こども館「こども広場」でミニ句会

【対象】小学生とその保護者（大人1人につき小学生2人まで参加可）

【定員】各20組（先着順）

【料金】1000円（親子1組）

【申し込み】参加希望日の2日前の17時までに、電話またはeメールで住所、参加者全員の氏名、学年、電話番号、保護者の携帯電話番号を書いて松山はいく事務局㊫matsuyamahaiku@gmail.comへ



お問い合わせは、松山はいく事務局☎9456445・FAX9346626（日曜・祝日を除く10～17時）、観光産業振興課☎9486557・FAX9341764へ

子どもをはぐくむいじめ0（ゼロ）の集い

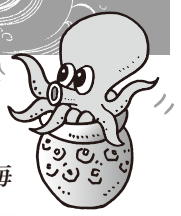
子どもの健全育成について考え、社会全体でいじめ根絶に向け取り組もうと「子どもをはぐくむいじめ0（ゼロ）の集い」が10月23日、青少年センターで開催されました。

集いでは「いじめをなくすポスター」の表彰式のほか、東日本大震災心理支援センター・髙橋哲臨床心理士による「いじめについて考える」と題した講演が行われました。髙橋さんは、いじめ行動に対処するだけでなく、いじめによるトラウマ症状への対処が必要であると話し、いじめ根絶に向け**防災**（いじめをなくそう）・**抗災**（いじめと戦おう）・**減災**（いじめによる被害を少なくしよう）を呼び掛けました。

臨床心理士の観点からいじめへの対処について話す髙橋さん

お問い合わせは、㈶学校教育課☎9486599・FAX9341815へ

捕れたての新鮮なたこをお届けします 里島めぐり



たこつぼオーナー（中島）募集

【内容】1カ月（4回のつぼ上げ）単位でのオーナー制。契約期間の選択可。不漁の場合も残念賞（しまの旬海鮮）あり▶期間＝12月～平成24年8月

【料金】1口（5つぼ）5,000円（1カ月契約・送料別）

【申し込み】各月5日まで。ファクス・eメール。住所、氏名、電話番号、メールアドレスまたはファクス番号、希望契約期間（○月）、口数を松本☎・FAX997-2516㊫yaemaru@sage.ocn.ne.jpへ

たこつぼ漁師の松本夫妻

お問い合わせは、中島支所☎997-1841・FAX997-1585へ

12/3～9 障害者週間
共生社会の実現に向けて考えよう

障害者週間は、障がい者問題への関心と理解を深め、障がい者福祉の増進を目的に定められました。この機会に、障がい者の自立や社会参加への意欲を高めるとともに、障がい者への理解を深め、障がい者の有無に関わらず、誰もが人格と個性を尊重し合う共生社会の実現について考えましょう。

身体障害者補助犬への理解を

身体障害者補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬）は、体の不自由な人の日常生活や社会参加の促進に重要な役割を担っています。また身体障害者補助犬法により、不特定多数の人が利用する公共施設・飲食店・宿泊施設・交通機関などでは、身体障害者補助犬の同伴受け入れが義務付けられています。食品を扱う場所に補助犬がいることに抵抗を感じるかもしれませんが、補助犬は、特別な訓練を受けているため、人に危害を加えることはなく、衛生面も清潔に管理されています。

補助犬は障がい者にとっては、体の一部です。そのため「犬だから」という理由のみで受け入れを拒否せず、温かく見守ってください。そして補助犬を連れている人が困っている場合は、手助けをお願いします。

お問い合わせは、障がい福祉課☎9486353・FAX9329753へ

要介護認定を受けている人の「障害者控除」

65歳以上で介護保険の要支援または要介護の認定を受けている人は、障害者手帳を持っていなくても所得税の確定申告や市県民税の申告の際に「障害者控除」の対象になります。控除を受けるには「障害者控除対象者認定書」が必要なため、障がい福祉課（市役所別館1階）へ申請（代理可）してください。

【申し込み】年末調整の人＝平成23年中▼確定申告の人＝平成24年1月4日㈬～

※過年分の認定書発行が可能な場合もありますので、早めにご相談ください

お問い合わせは、障がい福祉課☎9486369・FAX9327553、要介護認定については介護保険課☎9486856・FAX9340815へ

地域で育つ松山っ子

第15回 高浜小学校

児童数　男164人・女150人・計314人（平成23年10月1日現在）

高浜小学校のある高浜校区は、前に瀬戸内海、後ろに太山寺の山を仰ぐなど、自然豊かです。また古くから伊予の玄関として歴史と伝統を誇り、河野氏の港山城跡や小林一茶ゆかりの洗心庵跡、松尾芭蕉や正岡子規の句碑など、文化財も多数存在します。

子どもたちは、授業でもこの豊かな自然や文化財にふれながら「心豊かにたくましく生きるはまっ子」として元気に育っています。

自然や文化財にふれて育つ はまっ子

豊かな自然で体験学習

6年生の理科では、「土地のつくりと変化」の学習で岩子山の見学に出かけます。校歌にもうたわれ親しまれている岩子山は小学校の裏にあり、1時間30分もあれば、地層や岩石などを観察しながら頂上まで登って帰ってくることができます。昨年度は、高浜中学校と合同で、造岩鉱物の観察も行いました。

「土地のつくり」を直接、触って学習

大好き！高浜

3年生は、総合学習の時間に「高浜のじまんさがし」をしています。高浜地区は『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想の一角を担い、公民館には高浜地区観光ボランティアガイド部が組織されています。秋には、ボランティアガイド部の協力でコース別に説明を受けながら、校区の自慢を探しながら巡ります。その後、調べたことをまとめ、発表することで、情報収集能力やコミュニケーション能力を育てています。

観光ボランティアガイドと一緒に地域を巡る

松山っ子の声

（平成22年度当時）

岩子山に登って、土や岩を直接見たり、触ったりすると、教室の中だけでは分からない本物を感じることができました。（6年男子）

いつも見ているのに気が付かなかったけど、高浜には、自慢できるものがたくさんありました。今後も大事にしていきたいです。（3年女子）